

埼玉県/さいたま市 教職教養

【27】 次の文中の□□□□にあてはまる人物名として正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

現在のチェコ共和国で生まれ、三十年戦争において信仰上の理由で迫害された宗教改革家であり、教育思想家でもある□□□□は、個別の知識を分類して整え、全体をまとめあげる体系を作ろうと試みる「汎知学」を樹立し、『大教授学』を著した。

- 1 コメニウス 2 エラスムス 3 ルター 4 ミルトン

【28】 次の文中の□①□、□②□にあてはまる人物名と語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

□①□は、自分自身が直接経験したり、外部からの強化を受けたりしなくても、他者の行動を見るだけでその行動型を習得することを提唱した。このことを□②□という。

- 1 ① ケーラー ② 洞察
2 ① ケーラー ② 観察学習
3 ① バンデューラ ② 観察学習
4 ① バンデューラ ② 洞察

【29】次は、「教育基本法 第五条」の一部です。文中の①、②にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

国民は、その保護する子に、別に法律で定めるところにより、①教育を受けさせる義務を負う。

2 義務教育として行われる①教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において②的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。

- 1 ① 普通 ② 文化
- 2 ① 普通 ② 自立
- 3 ① 学校 ② 自立
- 4 ① 学校 ② 文化

【30】次は、「地方公務員法 第三十五条」の全文です。文中の①、②にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

職員は、法律又は条例に特別の定がある場合を除く外、その勤務時間及び職務上の①のすべてをその②遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務にのみ従事しなければならない。

- 1 ① 注意力 ② 職責
- 2 ① 注意力 ② 責務
- 3 ① 能力 ② 責務
- 4 ① 能力 ② 職責

【31】次は、「学校教育法 第十一条」の全文です。文中の①、②にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

校長及び教員は、①必要があると認めるときは、②の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1 ① 生徒指導上 | ② 学校の管理運営に関する規則 |
| 2 ① 生徒指導上 | ② 文部科学大臣 |
| 3 ① 教育上 | ② 学校の管理運営に関する規則 |
| 4 ① 教育上 | ② 文部科学大臣 |

【32】次は、「学校保健安全法 第二十七条」の全文です。文中の①、②にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の施設及び設備の安全点検、児童生徒等に対する①を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修その他学校における安全に関する事項について②を策定し、これを実施しなければならない。

- | | |
|-----------|------|
| 1 ① 通学 | ② 計画 |
| 2 ① 通学 | ② 目標 |
| 3 ① 長期休業中 | ② 目標 |
| 4 ① 長期休業中 | ② 計画 |

【33】次は、「いじめ防止対策推進法 第二十八条」の一部です。文中の〔①〕、〔②〕にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

学校の設置者又はその設置する学校は、次に掲げる場合には、その事態（以下「重大事態」という。）に対処し、及び当該重大事態と同種の事態の発生の防止に資するため、速やかに、当該学校の設置者又はその設置する学校の下に組織を設け、質問票の使用その他の適切な方法により当該重大事態に係る事実関係を明確にするための調査を行うものとする。

- 一 いじめにより当該学校に在籍する児童等の〔①〕に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
- 二 いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間〔②〕を余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

- 1 ① 教育を受ける権利 ② 学校を欠席すること
- 2 ① 教育を受ける権利 ② 心身の療養
- 3 ① 生命、心身又は財産 ② 心身の療養
- 4 ① 生命、心身又は財産 ② 学校を欠席すること

【34】次は、「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律 第四条」の一部です。文中の〔①〕、〔②〕にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策は、教育職員等による児童生徒性暴力等が全ての児童生徒等の〔①〕に関係する重大な問題であるという基本的認識の下に行われなければならない。

- 2 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策は、児童生徒等が〔②〕学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず教育職員等による児童生徒性暴力等を根絶することを旨として行われなければならない。

- 1 ① 人権及び特性 ② 安心して
- 2 ① 人権及び特性 ② 安全な環境のもと
- 3 ① 心身の健全な発達 ② 安心して
- 4 ① 心身の健全な発達 ② 安全な環境のもと

【35】次は、「第3期教育振興基本計画」（平成30年6月15日 閣議決定）の「第1部 我が国における今後の教育政策の方向性 Ⅲ. 2030年以降の社会を展望した教育政策の重点事項」の一部です。文中の□①、□②にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

○ AIの発展によって近い将来多くの職種がコンピューターに代替されるとの指摘がある時代だからこそ、□①を主体的に使いこなす力だけでなく、他者と協働し、人間ならではの□②や創造性を発揮しつつ新しい価値を創造する力を育成することが一層重要になる。これからの教育は、こうした人間の「可能性」を最大化することを幼児期から高齢期までの生涯にわたる教育の一貫した理念として重視しなければならない。

- | | |
|--------------|-------|
| 1 □① ICT | □② 感性 |
| 2 □① ICT | □② 知性 |
| 3 □① インターネット | □② 知性 |
| 4 □① インターネット | □② 感性 |

【36】次は、「中学校学習指導要領」（平成29年告示）の「前文」の一部です。文中の□①、□②にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい□①を創るという理念を学校と□①とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、□①との連携及び協働によりその実現を図っていくという、□①に開かれた教育課程の実現が重要となる。

学習指導要領とは、こうした理念の実現に向けて必要となる教育課程の□②を大綱的に定めるものである。学習指導要領が果たす役割の一つは、公の性質を有する学校における教育水準を全国的に確保することである。

- | | |
|---------|-------|
| 1 □① 社会 | □② 目標 |
| 2 □① 社会 | □② 基準 |
| 3 □① 地域 | □② 基準 |
| 4 □① 地域 | □② 目標 |

【37】次は、「発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン ～発達障害等の可能性の段階から、教育的ニーズに気づき、支え、つなぐために～」(平成29年3月文部科学省)の一部です。文中の□①、□②にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

(2) □①の作成とそのねらい

教育上特別の支援を必要とする児童等の適切な指導及び必要な支援に当たっては、個別の教育支援計画における一人一人の教育的ニーズや支援内容等を踏まえ、当該児童等に関わる教職員が協力して、各教科等における指導の目標や内容、配慮事項等を示した□①を作成しつつ、必要な支援を行うことが有効です。

作成は□②が中心となっていくこととなりますが、学校と家庭が一貫した支援を行えるよう、□①に記載された指導・支援内容等について、保護者と共有することで、支援の効果を高めることが期待されます。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 □① 個別の指導計画 | □② 通常の学級の担任 |
| 2 □① 個別の指導計画 | □② 特別支援教育コーディネーター |
| 3 □① 年間運営計画 | □② 通常の学級の担任 |
| 4 □① 年間運営計画 | □② 特別支援教育コーディネーター |

【38】次は、「障害のある子供の教育支援の手引 ～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(令和3年6月 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)の一部です。文中の①、②にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

2 早期からの一貫した教育支援

(1) 早期からの教育相談・支援の重要性

(中略)

乳児期から幼児期にかけて子供が専門的な教育相談・支援が受けられる体制を、医療、福祉、保健等との連携の下に早急に確立することが必要であり、児童発達支援センター等の①施設等の資源の積極的・効果的な活用により、高い教育効果が期待できる。

乳幼児健康診査や②等と就学前の療育・相談との連携、認定こども園・幼稚園・保育所等と小学校や義務教育学校前期課程(以下単に「小学校」という。)との連携、子供家庭支援ネットワークを中心とした事業など、教育委員会と福祉部局とが早期から連携して、子供の発達支援や子育て支援の施策を行うことで、支援の担い手を多層的にすることが重要である。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 ① 障害児通所支援 | ② 保健師訪問 |
| 2 ① 障害児通所支援 | ② 5歳児健康診査 |
| 3 ① 児童福祉 | ② 保健師訪問 |
| 4 ① 児童福祉 | ② 5歳児健康診査 |

【39】次は、「障害のある子供の教育支援の手引 ～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(令和3年6月 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)の一部です。文中の□①、□②にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

① 特別支援学校(聴覚障害)の対象

対象となる障害の程度は以下のように示されている。

両耳の聴力レベルがおおむね□①以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の
話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの。(□②)

- | | |
|------------|------------------|
| 1 ① 90デシベル | ② 学校教育法施行令第22条の3 |
| 2 ① 90デシベル | ② 学校教育法第72条 |
| 3 ① 60デシベル | ② 学校教育法施行令第22条の3 |
| 4 ① 60デシベル | ② 学校教育法第72条 |

【40】次は、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本指針」（平成29年3月 文部科学省）の「1. 教育機会の確保等に関する基本的事項」の「(3) 基本的な考え方」の一部です。文中の□① ～ □③にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

まず、全ての児童生徒にとって、魅力あるより良い学校づくりを目指すとともに、いじめ、暴力行為、体罰等を許さないなど安心して教育を受けられる学校づくりを推進することが重要である。

不登校は、取り巻く環境によっては、どの児童生徒にも起こり得るものとして捉え、不登校というだけで□①であると受け取られないよう配慮し、児童生徒の最善の利益を最優先に支援を行うことが重要である。

不登校児童生徒が行う□②な学習活動の実情を踏まえ、個々の不登校児童生徒の状況に応じた必要な支援が行われることが求められるが、支援に際しては、登校という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、□③に自立することを目指す必要がある。なお、これらの支援は、不登校児童生徒の意思を十分に尊重しつつ行うこととし、当該児童生徒や保護者を追い詰めることのないよう配慮しなければならない。

- | | | | |
|---|---------|------|-------|
| 1 | ① 問題行動 | ② 複雑 | ③ 精神的 |
| 2 | ① 問題行動 | ② 多様 | ③ 社会的 |
| 3 | ① 不適応行動 | ② 多様 | ③ 社会的 |
| 4 | ① 不適応行動 | ② 複雑 | ③ 精神的 |

【41】次は、「児童生徒の教育相談の充実について（通知）」（平成29年2月3日 文部科学省初等中等教育局長）の一部です。文中の□①～□③にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

(1) □①、早期発見及び支援・対応等への体制構築

これまでの教育相談は、どちらかといえば事後の個別事案への対応に重点が置かれていたが、今後は不登校、いじめや暴力行為等問題行動、子供の貧困、虐待等については、事案が発生してからのみではなく、□①、早期発見、早期支援・対応、さらには、事案が発生した時点から事案の改善・回復、再発防止まで一貫した支援に重点を置いた体制づくりが重要であること。

(2) 学校内の関係者が□②として取り組み、関係機関と連携した体制づくり

学校内の関係者が情報を共有し、教育相談に□②として取り組むため、既存の校内組織を活用するなどして、早期から組織として気になる事例を洗い出し検討するための会議を定期的に実施し、解決すべき問題又は課題のある事案については、必ず支援・対応策を検討するためのケース会議を実施することが必要であること。

(3) 教育相談□③の配置・指名

学校において、組織的な連携・支援体制を維持するためには、学校内に、児童生徒の状況や学校外の関係機関との役割分担、SCやSSWの役割を十分に理解し、初動段階でのアセスメントや関係者への情報伝達等を行う教育相談□③役の教職員が必要であり、教育相談□③を中心とした教育相談体制を構築する必要があること。

- | | | | |
|---|--------|--------|------------|
| 1 | ① 発達支援 | ② グループ | ③ 支援員 |
| 2 | ① 発達支援 | ② チーム | ③ 支援員 |
| 3 | ① 未然防止 | ② グループ | ③ コーディネーター |
| 4 | ① 未然防止 | ② チーム | ③ コーディネーター |

【42】次は、「生徒指導提要」（令和4年12月 文部科学省）の「1.1.1 生徒指導の定義と目的」の一部です。文中の□①～□③にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

生徒指導の目的

生徒指導は、児童生徒一人一人の□①の発見とよさや可能性の伸長と□②の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる□③を支えることを目的とする。

- | | | | |
|---|------|------------|----------|
| 1 | ① 強み | ② 社会的資質・能力 | ③ 自己実現 |
| 2 | ① 強み | ② 社会情緒的能力 | ③ キャリア達成 |
| 3 | ① 個性 | ② 社会情緒的能力 | ③ キャリア達成 |
| 4 | ① 個性 | ② 社会的資質・能力 | ③ 自己実現 |

【43】次は、「学校評価ガイドライン〔平成28年改訂〕」（平成28年3月 文部科学省）で述べられている学校評価の目的です。文中の□ア～□ウにあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

- ① 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として□アな改善を図ること。
- ② 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に□イを果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- ③ 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や□ウ等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

- | | | | |
|---|-----------|--------|--------|
| 1 | ア 組織的・継続的 | イ 経営責任 | ウ 指導助言 |
| 2 | ア 組織的・継続的 | イ 説明責任 | ウ 条件整備 |
| 3 | ア 自主的・自律的 | イ 経営責任 | ウ 指導助言 |
| 4 | ア 自主的・自律的 | イ 説明責任 | ウ 条件整備 |

【44】次は、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和3年1月26日 中央教育審議会）の一部です。文中の□□□□にあてはまる語句として正しいものを、下の1～4の中から1つ選びなさい。

○ 学校における授業づくりに当たっては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の要素が組み合わせられて実現されていくことが多いと考えられる。各学校においては、教科等の特質に応じ、地域・学校や児童生徒の実情を踏まえながら、授業の中で「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、□□□□に向けた授業改善につなげていくことが必要である。

- 1 「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 2 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得
- 3 生きる力の育成
- 4 創意工夫を生かした特色ある教育活動の展開

【正答番号一覧】

問題番号	正答番号
【27】	1
【28】	3
【29】	2
【30】	1
【31】	4
【32】	1
【33】	4
【34】	3
【35】	1
【36】	2
【37】	1
【38】	2
【39】	3
【40】	2
【41】	4
【42】	4
【43】	2
【44】	1